

「通いの場」通信

Vol.43

令和6年9月24日発行



とても暑かった今年の夏も徐々に秋が近づいてきていますが、秋と言えば「芸術の秋」ですね。

通いの場の中で、手芸作品作りや楽器演奏などを楽しまれている活動をご紹介します。

【サロン交流会で展示された作品と活動の紹介】

市内各地区のサロン交流会では、活動者の情報交換や出前講座の体験会だけでなく、趣向を凝らした手芸作品の展示コーナーも注目を集めています。季節を感じられるものや、地区の素材を活かした作品など、どれも魅力たっぷりです。



手芸の会（真備地区）

ちりめん生地を使って干支や季節の置物などを作っています。毎回、季節ごとに家に飾るのを楽しみに作られています。



船穂そよ風の会 (船穂地区)

動物のたくさん住む森をイメージして、大きな模造紙に色紙のちぎり絵を作りました。会員の皆さんで、一つの作品を作るのも楽しいですね。



小山いきいきサロン（真備地区）

可愛らしくて個性的なひな人形。土台部分の材料には真備の竹が使われています。お孫さんと一緒に作るなど、活動の中で世代間交流も生まれています。



【裁縫で作品作りを楽しんでいます（サロン玉島なでしこ）】



玉島柏台にあったパッチワーク教室が閉所後、「それまで集まっていた場がなくなるのは寂しい」との声からサロンがはじめました。

各家庭に眠っている生地等を活用し、おしゃれに普段使いできる洋服作りを楽しんでいます。自宅で作ったものもサロンに持ち寄り、お互い刺激をもらいながらやりがいにつながっています。



玉島地区サロン交流会でも作品を展示了しました。

【楽器演奏を楽しんでいます】

楽器演奏の練習を通して、脳トレや参加者同士の交流を図っている通いの場。

定期的に練習を重ねることで段々と上達し、他の通いの場から声がかかり演奏を披露することもあります。発表の場があることは、上達のモチベーションにもつながりますね。



ピーチ・ピチサロン（玉島地区）
オカリナ演奏をしているサロンです。
9/2船穂地区サロン交流会にも参加され、綺麗な音色を届けてくれました。



なんぽ虹いろの会（玉島地区）
ハンドベルを演奏しているサロンです。
福祉施設から声がかかり演奏することもあり、入居者の歓声がメンバーの励みになっています。

特技を発揮するボランティア



通いの場で特技を発揮し、メンバーと一緒に楽しい時間を共有して輝いているボランティアの方々もたくさんいます。

倉敷市社会福祉協議会の倉敷ボランティアセンターでは、楽器の演奏や演劇、手品など、いろんな特技を持ったボランティアが登録されており、地域の通いの場などで依頼に合わせ、その腕前を披露しています。

特別なイベントの時などにお願いする通いの場もあります。

詳しくは、問い合わせ先までご連絡ください。



昨年度の玉島地区サロン交流会で演奏された「吉備の風笑吹き」。ギターとオカリナの3人グループで、地域のサロンや福祉施設等からの依頼があれば演奏に行かれています。

【能登半島地震で被災された方々へマフラーを編んで送りたい】

平成30年7月豪雨災害の後、被害を受けた真備町の被災者へ輪島市の皆さんから着物の生地を活用して作った「和みバック」が贈られました。「心が少しでも和んでいただけるように」との思いがこもった贈り物は、被災者の心を癒しました。

今年、発生した能登半島地震で大きな被害を受けた輪島市の被災者へ「今度は自分たちが恩返しをしたい」との思いから真備町で「あみあみプロジェクト」が立ち上りました。

寒い冬が来るまでにマフラーを編んで届けることを目標に、現在自宅に眠っている毛糸や一緒に編んでくれるメンバー（編み隊）を募集しています。ご協力いただける方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。



問い合わせ先

倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 倉敷市笹沖180番地

☎ 086-434-3301 FAX 086-434-3357 e-mail tiikifukushi@kurashikisyakyo.or.jp